

Ueda

上田市民と行政をつなぐ、お役立ち情報紙

広報うえだ
4月号
2021 (令和3年)
No.338



特集
保存版

上田の歴史と未来をつむぐ

「新本庁舎特集保存版」が16～17ページの間に差し込まれています

上田市役所本庁舎が完成しました

「市民力」と「共感力」を大切に
令和3年3月市議会定例会市長施政方針… ②

「感染症対策」「産業・経済」「安全・安心」
令和3年度当初予算…………… ④

ワクチン接種のコールセンターを開設
65歳以上の新型コロナワクチン接種開始…… 裏表紙

※新型コロナウイルス感染症の状況によりイベントや会議などの内容が変更になる場合があります。ホームページなどをご確認いただくか、各担当までお問い合わせください。

「市民力」と「共感力」の二つを大切に 魅力あふれるまちづくりに邁進してまいります。

新型コロナウイルス感染症 に対する取組

新年早々、感染の拡大が懸念される事態となり、改めて緊張感を持ち啓発活動を強化してきました。市民お一人おひとり、また、保健所をはじめ関係機関の皆様のご協力により、感染拡大防止に対する取組が功を奏し、県内全圏域において「新型コロナウイルス」が解除されましたが、引き続き基本的な感染予防対策の徹底をお願いします。

今定例会に専決処分として報告しているワクチン接種は、65歳以上の高齢者の接種に向け、県や地元医師会などと鋭意調整を行っています。加えて、健康こども未来部にワクチン接種を所管する専門部署を新設し、市民の皆様が安心して予防接種を受けられるよう全庁体制で取り組んでまいります。

書の策定を行っています。今後、説明会などを通じて、住民の皆様のご意見をお聴きするとともに、安全・安心な施設の建設に向けて取組を進めます。併せて、資源循環型施設建設を契機とした地域価値の向上を目指して、将来のまちづくりを検討するための地元の皆様と話し合いを行ってまいります。

一方、南部終末処理場内に整備予定の「し尿前処理下水道投入施設」は、来年度から地元下之条自治会の皆様とお約束した地域振興事業を開始し、住みやすい地域づくりに取り組んでまいります。

令和元年東日本台風災害 からの復旧・復興対策

市内の道路、河川、農林業用施設などの本復旧は、既に完了、あるいはこの3月に復旧する施設が多い中、被害の甚大さから引き続き、来年度も工事を行う箇所がありますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

別所線千曲川橋梁などは、復旧工事が順調に進み、全線開通となる

る3月28日に向けて、関係機関と連携を密にし、全力で復旧に取り組みしてまいります。別所線の全線開通に併せて、諏訪形地籍の千曲川左岸堤防道路・市道御所小牧線の災害復旧工事も完了することから、同日、上田橋・常田新橋間の供用を再開します。

自治・協働・行政 「市民が主役のまちづくり」

自治の最高規範として上田市自治基本条例を施行し、市民、市議会、そして市が協力しながら「参加と協働による住民自治の推進」と「地域内分権による地域自治の推進」に努めてまいりました。今年度は、「自治基本条例検証委員会」を設置し、基本理念の実現に向けたこれまでの取組状況などの検証が行われました。今回の見直しを契機に、条例に対する職員の理解を更に深めながら市の責務を果たすとともに、市民の皆様への更なる周知に努め、より実効性のある自治基本条例となるよう取り組んでまいります。

自然・生活環境 「安全・安心な快適環境の まちづくり」

温室効果ガスの排出などを原因とする気候変動により、勢力の強い台風などの被害が世界各地で発生しており、これらの被害は今後も拡大し続け、頻発化、激甚化していくことが予測されます。市民の皆様や事業者の方々と危機感を共有し、一体となって対策を進めていくことが重要であると考えており、今年度策定の「上田市地球

産業・経済 「誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり」

市内商工団体および民間事業者と取り組む「デジタルコミュニケーション通貨実証実験」として、2月1日に「まちのコイン上田もん」がスタートしました。4月にはECサイト「もん

マーケット上田」のオープンが予定されており、コロナ禍で売上が減少した事業者の新たな販売チャネルとしてご活用いただきたいと考えています。

4月1日のオープンを目指し準備を進めている、殿城地区のクラインガルテン(滞在型市民農園)は、既に定員を上回る申し込みがあり、多くの方に関心を寄せていただいていると実感しています。今後は、都市農村交流の拠点であるクラインガルテンを有効に活用し、地元住民とのさまざまな交流活動を通して地域および地域農業の活性化を図るとともに、農業や田舎暮らしに関心がある都市住民の移住・定住にもつなげてまいります。



健康・福祉

「ともに支え合い健やかに暮らすまちづくり」

子育て支援につきましては、「子どもは地域の宝」であることから、安心して妊娠・出産ができ、学童期まで子育て家庭に寄り添った切れ目のない「貫いた支援体制の充実を図ることが重要であると考えています。今回の「後期まちづくり計画」には、「子育て支援」を重点プロジェクトに加え、新たに「子どもが健やかに育ち、子育ての喜び・楽しさが感じられるまちづくり」の章を設けた意義を踏まえ、今後も「第二次上田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭への支援を充実してまいります。

教育 「生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり」

スタートから2年目を迎えた「信州上田学」は、長野大学での「信州上田学講座」の受講生による成果発表会が開催され、学生の新鮮な感性と行動力あふれる取組を見させていただきました。「上田未来会議」は、特徴的な活動を行う講師によるオンライン講座の開催に加え、菅平高原や別所温泉での「地域未来会議」など、新たな視点を取り入れながら実施してきました。今後も引き続き、シビックプライドのより一層の醸成につながる事業展開に努めてまいります。

文化・交流・連携 「文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり」

12月13日、上田市日本遺産推進協議会による認定記念シンポジウムが開催され、多くの市民の皆様にご参加いただき、改めて上田市の文化財の素晴らしさを認識していただきました。12月20日には、レイライン沿いで、地元住民自治組織と連携して花火の打ち上げを実施し、機運の醸成を図ったほか、SNSなどの各種媒体を活用した認定ストーリーなどを広く紹介するプロジェクトも積極的に展開してきています。今後は、テーマの魅力をも

各種プロジェクト

上田市スマートシティ化推進計画につきましては、令和3年度からの5年間を期間とし、「市民、地域、行政がデジタル化により密接につながり、共に創る未来都市★UEDA」を掲げ、市役所業務のスマート化や地域企業の技術の活用、まちの魅力を高めるデジタル化の推進などを具体的に示しています。今後は、この計画に基づき、行政事務の効率化と市民サービスの向上を両立させるとともに、地域課題の解決や地域経済の活性化を実現するため、上田市のスマートシティ化を着実に進めてまいります。

市庁舎改修・改築事業等

新本庁舎は、3月10日には、市へ引き渡しが行われることになっていきます。窓口業務を集約し、利用者の利便性の向上を図るとともに、発災時における災害対策本部としての中枢機能や、防災拠点としての役割も備えています。加えて、環境と景観に配慮した設計により、国のサステナブル建築物等先導事業の採択を受け、自然エネルギーの活用と先導的な省CO2技術を数多く取り入れています。市民の皆様にも1日も早くご利用いただけるよう、旧庁舎から新庁舎への移転を全庁体制で取り組んでまいります。

3月議会初日に提案した議案の概要

- 条例案(12件)
 - 一部改正/上田市立幼稚園設置条例及び上田市保育所条例中一部改正 ほか
- 令和2年度補正予算案(7件)
 - 一般会計(1件)、特別会計(3件)、企業会計(3件)
- 令和3年度当初予算案(13件)
 - 一般会計(1件)、特別会計(7件)、企業会計(5件)
- 事件決議案(3件)
 - 辺地総合整備計画の策定について ほか
- 報告事項(1件)
 - 専決処分した令和2年度一般会計補正予算の承認について

施政方針はインターネットでも
ご覧いただけます。
動画・全文をご覧いただけます。



市ホームページ

動画はこちらから



別所線全線開通セレモニー

2021年3月28日

上田市 上田電鉄株式会社



歳出

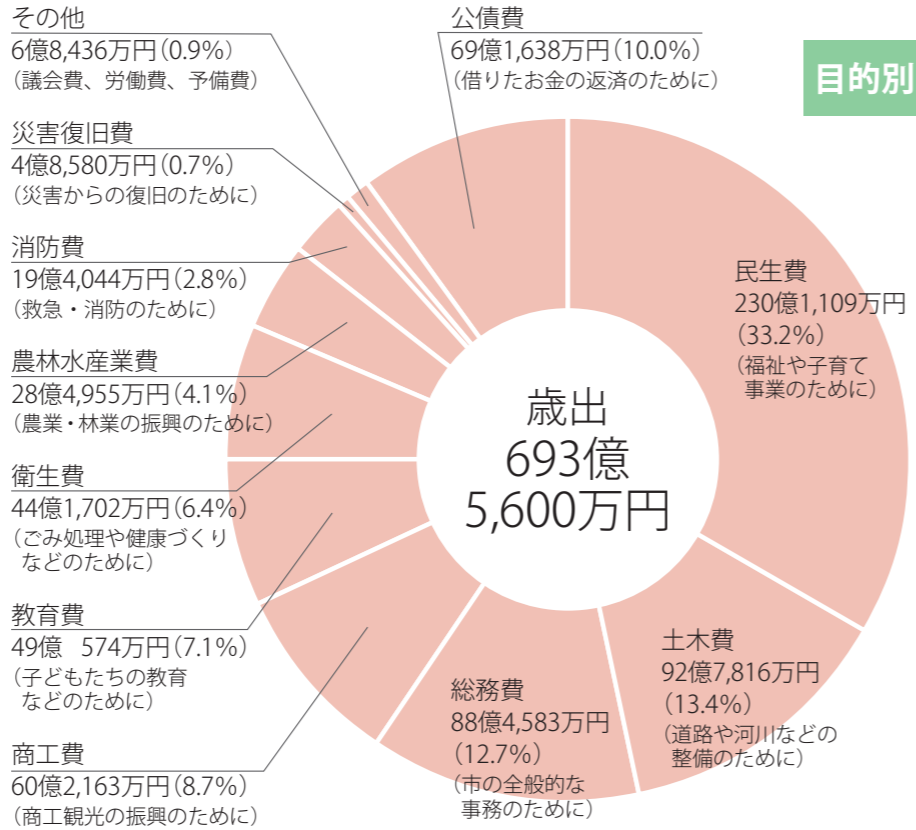
令和3年度は第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」の初年度であることから、将来都市像を具体化するための施策展開を念頭に置き、全世界共通の目標「SDGs（持続可能な開発目標）」達成に向けた視点を踏まえるとともに、コロナ禍を乗り切るために生活者及び事業者への支援を最優先し、3つの重点分野に優先的に予算配分を行いました。（重点分野ごとの特徴的な事業は次のページに掲載しています）

目的別では、前年度より商工費が12億円余、衛生費が1億円余増えた一方で、総務費が50億円余、災害復旧費が9億円余減りました。

性質別では、前年度より貸付金が7億円余、物件費が3億円余増えた一方で、普通建設事業費が68億円余、災害復旧事業費が9億円余減りました。

性質別

性質	令和3年度 予算額	構成比
義務的経費		
人件費	123億9,688万円	17.9%
扶助費	116億8,693万円	16.9%
公債費	69億1,638万円	10.0%
投資的経費		
普通建設事業費	46億1,815万円	6.7%
災害復旧事業費	4億8,580万円	0.7%
その他経費		
補助費等	129億1,245万円	18.6%
物件費	81億3,512万円	11.7%
貸付金	68億8,250万円	9.9%
繰出金	42億3,593万円	6.1%
その他	10億8,587万円	1.5%
合計	693億5,600万円	100.0%



特別会計 341億円

特別会計とは、特定の事業や資金などについて、その収支を明確にするために一般会計と分けて整理する会計です。全体では、0.01%、400万円余減りました。これは、国民健康保険事業で、保険給付費が被保険者数の減少により減額となったことが主な理由です。

◎令和3年度特別会計予算一覧

会計名	当初予算額	増減率(%)
土地取得事業	4億円	0
同和地区住宅新築資金等貸付事業	1,228万円	△ 9.0
国民健康保険事業	146億5,075万円	△ 2.2
後期高齢者医療事業	21億4,426万円	△ 3.4
介護保険事業	166億2,864万円	2.7
駐車場事業	1億 570万円	△ 20.4
武石診療所事業	1億1,297万円	△ 0.2
特別会計合計	340億5,460万円	△ 0.01

企業会計 189億円

企業会計とは、料金や使用料などの収入によって運営される会計です。全体では、0.8%、1億5千万円余増えました。これは、公共下水道事業で、長寿化・地震対策事業などに要する経費が増えたことが主な理由です。

◎令和3年度企業会計予算一覧

会計名	当初予算額	増減率(%)
真田有線放送電話事業	5,887万円	3.3
産婦人科病院事業	6億 109万円	△ 3.3
水道事業	49億8,504万円	△ 6.2
公共下水道事業	110億6,930万円	5.5
農業集落排水事業	22億2,393万円	△ 3.5
企業会計合計	189億3,823万円	0.8

一般会計 8.0%減の694億円

一般会計の予算額は、市庁舎改修・改築事業の関連経費の大幅な減額および令和元年東日本台風による災害復旧事業が減額になったことから、前年度と比較して8.0%、60億4,300万円減の693億5,600万円となりました。

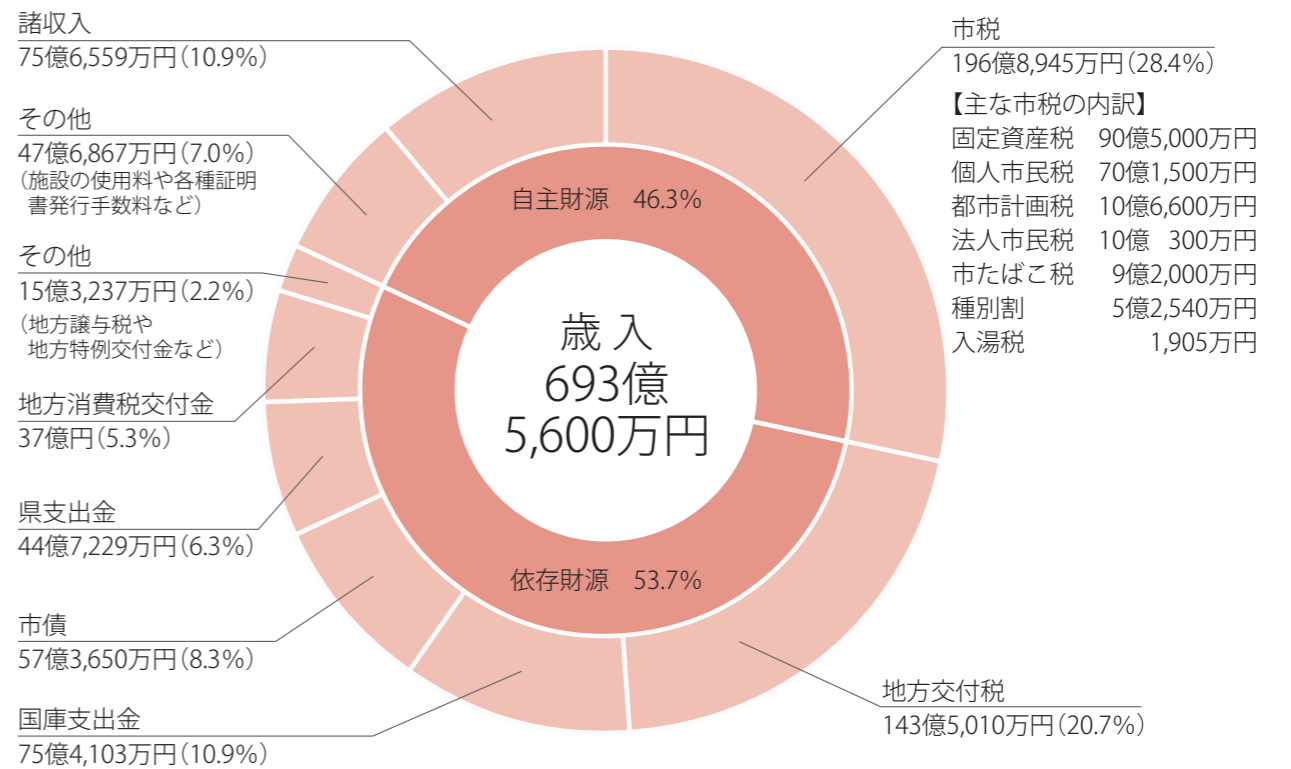
また、コロナ禍である点を踏まえながら、将来を見据えた持続可能な財政運営に取り組むべく予算編成に努めました。

歳入

市税は、令和3年度税制改正大綱のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、個人市民税等で減収が見込まれるため、前年度と比較して7.4%、15億7千万円余減の196億円余の予算計上としました。

地方交付税は、地方財政の目安となる地方財政計画において増額とされていることなどから、前年度と比較して5千万円増の143億円余としました。

市債は、前年度と比較して48億円余減の57億円余としました。



自主財源：市税、使用料など市が自主的に得られる財源

依存財源：地方交付税、国・県支出金、市債など国や県の基準によって定められた額が交付される財源

市債現在高(見込み) …1,170億円

学校や道路などの公共施設を整備するときに、市の借金にあたる市債の活用をしています。財政負担を複数の年度に分けることにより、計画的な財政運営を行うことができます。

◎市債の年度末現在高見込額

区分	令和3年度末	令和2年度末
一般会計	695億3,988万円	703億8,032万円
特別会計	1億7,671万円	2億2,778万円
企業会計	473億 530万円	496億2,694万円
合計	1,170億2,188万円	1,202億3,503万円

基金現在高(見込み) ……215億円

災害など不測の事態や将来の大きな事業、借入金の返済などのために、市の貯金ともいえる基金を積み立てています。また、積み立てた基金を事業実施のために有効に活用しています。

◎基金の年度末現在高見込額

区分	令和3年度末	令和2年度末
財政調整基金	25億6,086万円	32億6,086万円
減債基金	37億3,845万円	44億3,831万円
特定目的基金	113億4,424万円	113億9,820万円
その他の基金	16億7,378万円	19億6,369万円
定額運用基金	22億 526万円	22億 526万円
合計	215億2,259万円	232億6,633万円

令和3年度当初予算

令和3年度当初予算が、市議会3月定例会で可決されましたのでお知らせします。
◎表示単位未満を四捨五入しています。端数処理のため合計額は一致しないことがあります。

新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算

新型コロナウイルス感染症対策に関する令和3年度補正予算が3月市議会で可決されました。その中から3つの取り組みを紹介します。その他の支援制度などは市ホームページをご確認ください。



飲食店等事業継続緊急支援事業

会食や外出の自粛により影響を受ける飲食店などを営む事業者の事業継続を支援します。

対象事業者

次の全てに該当する市内の中小企業者または個人事業主

- 飲食店、旅行業、バス・タクシー、運転代行業、卸売業(飲食料品卸売業、織物・衣服等卸売業)、小売業(飲食料品小売業、織物・衣服・身の回り品小売業、花・植木小売業)、生活関連サービス業、娯楽業(映画館、興行場)などを営む者
- 令和2年12月から令和3年2月までの合計売上額が前年同期と比較して、50%以上かつ20万円以上減少している
- 引き続き事業継続の意思がある

支援金

1事業者につき20万円(複数店舗を有する場合も20万円)

申請方法

市ホームページに掲載されている必要書類を事務局へ郵送。対象事業や必要書類など事業の詳細は、☎窓口や本庁舎1階総合案内にある申請書類、または市ホームページをご確認ください。

☎ 23・5395

要介護者・障がい者等感染症拡大防止支援金

要介護者、障がい者などの「新しい生活様式」による在宅での新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みを支援します。感染予防対策のためのマスク・消毒薬・体温計などの購入費、医療機関への交通費などにお使いください。

対象者
詳細は
問い合わせ
ください

令和3年度のいずれかの時点で、①～③のいずれかに該当する方(市内に住所を有する間に限る)

- ①介護保険で要介護1～5の要介護認定を受けている在宅の方
- ②障害者手帳所持者のうち、市の福祉医療費受給者証の交付を受けている在宅の方など
- ③特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当のいずれかの支給を受けている在宅の方

支給額

1人5,000円(1回限り)

申請期間

6月1日(火)～令和4年3月31日(木)

申請方法

対象と思われる方に、6月上旬までに申請書を郵送します。また、6月1日(火)以降、市ホームページに掲載している申請書を印刷して申請することもできます。

提出・問合せ

① ☎ 高齢者介護課 ☎23・5131 ②・③ ☎ 障がい者支援課 ☎23・5158

☎ 23・5158

上田市合宿等誘致促進事業助成金

スポーツや文化活動などによる合宿や体験教育活動を行う大学や高等学校、高等専門学校、中学校、小学校、社会人で構成する団体に対して宿泊費と交通費などの一部を助成します。

条件

市内のホテル・旅館などに連続して2泊以上し、延べ宿泊者数が20人泊以上であること
(例: 10人で2泊すると20人泊)

助成金額

団体の所在地から宿泊施設までの片道距離	助成額
100km未満	1万円
100km以上 ～ 200km未満	2万円
200km以上 ～ 300km未満	3万円
300km以上	4万円

③上田市条例に規定する施設を使用した場合、施設使用料の1/2の金額を助成(③のみの申請はできません)

対象期間

4月1日(木)～令和4年3月31日(木)に実施されたもの

申請方法

合宿などを実施後、団体が☎産業観光課へ申請書などを提出(郵送可)

☎ 産業観光課 ☎72・4330
 ☎ 観光課 ☎23・5408
 ☎ 産業観光課 ☎42・1048
 ☎ 産業建設課 ☎85・2828

令和3年度当初予算

重点3分野の特徴的な事業

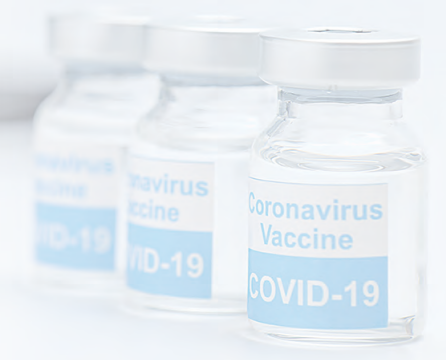
🆕 は新規事業 🔄 は充実させた事業

感染症対策

感染症拡大を防止するための柔軟かつ機動的な施策の推進 **5億円**
(感染症対策の徹底、医療・介護・福祉関係者支援と体制整備など)

- 🆕 看護師養成機関・確保策調査事業 220万円
- 🔄 上田看護専門学校運営費補助事業 2,267万円
- 🔄 佐久医療センター運営費補助事業 742万円
- 各種予防接種事業 4億3,319万円

※新型コロナウイルスワクチン接種事業については、補正予算などで対応(5億9,025万円)



産業・経済

市民生活・雇用・事業・地域を守り抜く取り組みと「新しい生活様式」への対応 **67億円**
(中小企業・雇用対策、市内需要喚起、生活の下支え、デジタル化推進、東京一極集中の是正、個性ある地域づくりなど)

- 🆕 テレワーク拠点整備事業 1,088万円
- 🆕 公立保育園一斉メール配信事業 104万円
- 🔄 中小企業金融対策事業 47億8,100万円
- 🔄 GIGAスクール構想推進事業 2億1,857万円
(教育用コンピュータ等整備事業含む)
- 🔄 空き家情報バンク関係事業 1,142万円
(🆕 空き家活用推進物件調査など)
- 放課後児童健全育成事業 4億7,870万円



安全・安心

災害からの復旧・復興の推進と災害に強いまちづくり、環境保全 **133億円**
(防災・減災・国土強靱化、インフラ更新、避難対策強化、資源循環型施設建設に向けた取り組みなど)

- 🆕 し尿前処理下水道投入施設建設事業 8,561万円
- 🆕 循環資源利用推進事業 772万円
- 🆕 国道254号沿線「道の駅」整備事業 500万円
- 🔄 太陽光活用設備導入支援事業 3,130万円
- 市庁舎改築事業 10億4,722万円
- インフラ長寿命化修繕事業 5億9,000万円
- 市道新設改良事業 5億5,051万円
- 公共交通運行支援等事業 5億3,090万円
- (🆕 別所線災害復旧関連事業など)
- 各種災害復旧事業 4億8,550万円
- 生活関連道路等整備事業 4億円
- 防災情報システム整備事業 3,254万円
- 自主防災組織資器材購入支援事業 856万円



☎ 財政課 ☎23・5113